

平成28年9月1日

保護者各位

世田谷区教育委員会 教育長 堀 恵子

北沢小学校の統合時期に向けた話し合いについて

初秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

世田谷区教育委員会では、「世田谷区立小・中学校の適正規模化・適正配置に関する具体的な方策（第2ステップ）」を平成25年に策定し、子どもたちにとってより良い教育環境を整備・充実するために、守山小学校・東大原小学校・北沢小学校の3校を統合することになりました。

北沢小学校は、今後も単学級で推移することが見込まれていますが、今後10年程度児童数等の推移を見極めながら統合時期を判断することとしました。ただし、児童数等の急激な変化が生じた場合には別途対応するとしました。

これまでの間、3校の教職員が協力し、守山小学校・東大原小学校・北沢小学校の3校で宿泊行事をはじめとした交流活動も行ってきました。そして、この4月に下北沢小学校がスタートし、子どもたちの交友関係も広がり良好な人間関係を築きつつあります。教育委員会としては、このような現状をみて、新校舎が完成する平成30年4月を統合時期の目安と考え、この考えの下、8月の中旬に、北沢小学校PTA役員、学校運営委員、北沢地区町会長の方々にお声がけをし、以下の3点の考えをお示しし、話し合いを行いました。

- (1) 第2ステップの策定から4年目を迎えましたが、策定からこれまで北沢小学校保護者や未就学児の保護者の方々から、統合の時期が決定されていないことに対して不安の声を耳にしてきたこと。
- (2) 北沢小学校・下北沢小学校の校長・教職員とも話し合いを行い、子どもたちにとっては、新校舎と一緒にいるタイミングが精神的な負担が一番軽く円滑な学校運営に取り組み易いこと。
- (3) 統合時期を明確にしないまま時間を費やす状況は、北沢小学校の学校運営に支障をきたすことが懸念されること。

話し合いでは、「児童数が大きく変化しておらず、統合の時期を検討するのは今ではない」、「統合時期を決めること自体には異論はないが、今すぐに行う根拠を示してほしい」、「下北沢小学校への通学について不安がある」、「学び舎の考え方と相反するのではないか」、「統合には準備期間が必要であり、統合時期をはっきりさせた方がよい」、「通学路を実際に歩いた上で、安全対策を講じるべきだ」などのご意見をいただきました。

教育委員会としては、統合の時期については、子どもたちにとっての教育環境を第一に考え、引き続き、北沢小学校学校運営委員の方々を中心に、統合の時期を決めるための話し合いを進めてまいりたいと考えております。

今後とも子どもたちのために、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

<問い合わせ先>

世田谷区 教育委員会事務局 教育環境計画課
電話 03-5432-2722